

2024年8月12日（祝）
葛飾区青少年育成青戸地区委員会
環境部主催

体験型防犯教室 実施報告

少人数で、濃い内容でした。

例年、募集開始とともに定員の50人がすぐに埋まる人気講座ですが、今年はお盆ウィーク真っ最中の開催だったせいか、

受講者は子ども10人（未就学1人、小学1年生3人、2年生3人、3年生1人、5年生1人、6年生1人）

保護者6人（6世帯）

合計16人という少人数でした。

それに対して、講師陣は**NPO法人体験型安全教育支援機構**

代表の清永奈穂先生、木下史江さん、林茂子さん、安蒜まどかさん、清永先生のゼミの学生さん2人…という豪華メンバー！

内容の濃い、参加者にとっては非常にラッキーな会となりました。

まずは地震から身を守る練習



揺れ始めの8秒で安全なところに移動し、
亀さんのポーズで首のうしろを守る！
揺れが収まるまでじっとして我慢。
その間、大きな音がしている。

安全な場所の5つのポイント

- ①食器やガラスが落ちてこない
- ②テレビや本が飛んでこない
- ③棚などが倒れてこない
- ④ワゴンなどが動いてこない
- ⑤何もない部屋のすみ



子どもの身を守るためには



子どもにはまず、紙芝居で説明。
これから実際に練習するよ！

保護者には実際にあった犯罪の例を使って説明。
少しでも違和感をもったら「こんにちは」でも良いので、声をかける。この町の大人が見ているということを犯罪者に知らせる。



体験型で練習します

会場には学校から自宅までの「通学路」を設営してあります。



「あぶない場所」の特徴

ひとりだけになるところ
まわりから見えないところ
わかれみち、わきみちの多いところ
りようされていない場所など、誰もいないところ

怪しい人のヒント「はちみつじまん」

は話しかけてくる人
ち近づいてくる人
み見つめてくる人
つついてくる人
じじっとま待っている人

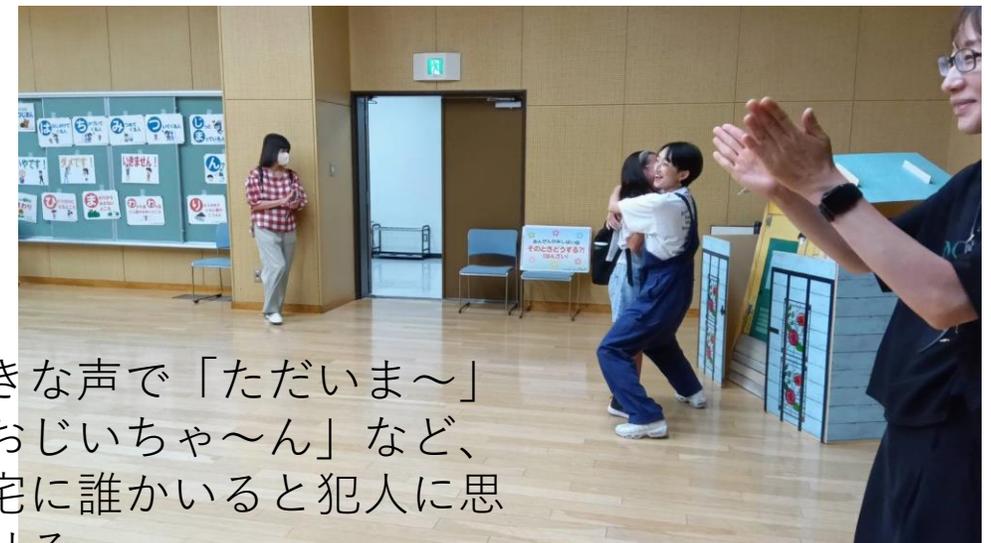
さあ、これからいよいよ
「いやです」「ダメです」
「行きません」と断る練習、
逃げる練習、
引き返す練習を始めるよ！



かわいい猫がお腹すかせてるから一緒にミルクをあげてくれないかな？
「嫌です！」

どこで、どんな特徴の人に、
どんな声かけをされたか親に報告。
靴の色を覚えておくと良い。

20メートルは走って
逃げよう。
犯罪者の7～8割は20
メートルであきらめる。



大きな声で「ただいま～」
「おじいちゃ～ん」など、
自宅に誰かいると犯人に思
わせる。



大きな声で「助けて～」の練習



腕をつかまれたら
横にぶんぶん振って振り払う



お尻をついて足バタバタ。犯人がひるんだすきに逃げる。



後ろから抱きつかれたら膝をかがめてロケットダッシュ。最後の手段は手に噛みつく。

参加者アンケート

- 1、 参加してみて、保護者さんはどのくらい満足しましたか？
たいへん満足——提出6世帯中6（100%）
- 2、 参加してみて、お子さんはどのくらい満足しましたか？
たいへん満足——提出6世帯中6（100%）
- 3、 今回の防犯教室では、保護者様、お子さんそれぞれどのようなことを学びましたか。
 - ・ 不審者から逃げるすべを学んだ。不審者がどんな人なのかも学んだ。
 - ・ 不審者、大声を出す、悪い人から逃げる、防犯ブザーをならす、人が見えないところで声をかけられたらすぐ逃げる。
 - ・ 子どもがふだんどんなことに気をつけるべきか。新しく色々な逃げ方などを学べた。

参加者アンケート つづき

- ・（子ども）にげるのが大変だった。助けてという言葉がなかなか出せなかった。
- ・（親）意外と遠いところや道でも見通しのよいところから犯人が見ていること。断る勇気が大事なこと。
- ・子どもは「うしろからつかまれてもうダメだと思っても、ランドセルをぬぎ捨てて走ればよいということが初めてわかった」と言っていました。
- ・とても実践的な教室で、とても勉強になりました。
- ・防犯ブザーの位置を間違えてつけていたので正していただいで助かりました。
- ・「はちみつじまん」の言葉を知ったから、不審者がおそってきたとき、習ったことを生かして逃げたいです。

4, その他、ご感想などご自由にお書きください。

- ・また参加したいです。
- ・楽しかった。いろいろな体験ができた。
- ・実際に起こった事件を例をあげながら説明してもらえたのでわかりやすかった。とてもためになった。
- ・公園で子どもだけで遊ぶことが増え、夏休みに1人で登下校しているのでもとても参考になりました。
- ・たのしかったです。ありがとう。
- ・通学路ではちゃんと前を見ます。

